

△第 26 次 2023 世界産業人大会 1 講 御座の力の All in - ただ（見張り人） （24・25・永遠）（ロマ 16:25-27）	△第 26 次 2023 世界産業人大会 2 講 パウロ時代の産業人 （ロマ 16:25-27）	△第 26 次 2023 世界産業人大会 3 講 流浪の民時代の産業人 （創 1:8）	△レムナント伝道学 レムナントの産業準備 （ロマ 16:25-27）
初代教会の産業人は、イエスが言われた御座の力にオールインした。ただの見張り人になったのだ。 □序論 MISSION → MISSIONS (宣教) 1. 力のやぐら 7 が皆さんの中に、皆さんの産業にできる 2. 超越の旅 7 3. 答えの道しるべ 7 契約と御座の力を握ってオールイン→答えの道しるべができる 4. 最高の決断 (使 1:11-15) 最悪の危機のとき、最高の決断。教会を生かして、次世代を生かして、産業を生かす 5. マルコの屋上の部屋で神様の最高の力を体験 (使 2:1-47) 6. 初代教会の産業人は死刑と同じ、最高の任職式 (使 6:1-7) をするようになった 7. 最高の選択 (使 11:19) 難しいとき、契約を握ってした選択が、アンティオキア教会であり世界を変えた 危機 答えを受ける産業人は、目が変わるべき。危機のとき、答えがすべて来た。答えを受けた 7 レムナントがそうした。 マタ 13:11-14 もし皆さんが本物ならば、分かる必要がある。 □本論 1. ただの集中 1) 制限された集中 2) 選択された集中 3) 問題でなくワンネス集中 2. ただの献身 1) マタ 28:1-16 アリマタヤのヨセフ 2) 使 2:9-11、2:43-45、3:32-37 15 か国から来た産業人 3) ロマ 16:25-27 神様が世々にわたって隠されていて、とこしえまでであることを授けた 3. ただの伝道 (宣教) の門が開き始め 1) 使 7:1-60 重職者を通した最高のメッセージ 2) 使 8:4-8 サマリア 3) 使 8:26-40 エチオピアの宦官 □結論 神様が与えられるしかない答えがまことの答え 1. 私の考え、私のことば、私の計画ではなく、神様のことに変えるのだ。そのときから、脳が変わって、たましいが生かされ、私と永遠の背景が会うようになる。御座だ。それゆえ、答えが来るしかない。 2. システムを今から変えること。神様のやぐら、旅程、神様の道しるべが私のプラットフォーム、見張り台、アンテナになること 3. 教会の中に三つの庭を作ること △神様が顧みられることをしなさい。そのときから、御座の力が答えとして来る。今回の産業人大会を通して 5 千種族に向けて音楽祝祭を準備しなさい。	私たちは聖書にあるまことの答えを受ける必要がある。問題に祝福の答え、葛藤に更新の祝福、危機に特別な計画がある。それゆえ、礼拝のときに神様のみにことばが私と合ってこそ、神様の力が明らかに現れる。パウロ時代の産業人は御座の力によってすべてを生かした。 □序論 神様がだいたいどんな人を立てられたのか 1. リディア、ヤソン、プリスカ夫婦 2. この人々は 7・7・7 の祝福の中に 3. ロマ 16:25-27 このとき、世々にわたって隠されていたことと、とこしえまでであることを今、与えてくださる彼らは支援者、同労者、家主、隠れた弟子になった。 □本論 何を (三つの庭) 助けたのか 1. 異邦人の庭 1) 使 13:1-4 パウロが一番最初に異邦人の庭へ。ここに産業人がついた 2) 使 16:6-10 人生のターニングポイント、マケドニア。ここに参加した産業人。だれを助けるかが重要 3) 使 19:1-7、21 マルコの屋上の部屋で受けた恵みを→テイヤノーローマまで 2. 癒やし - 祈りの庭 1) 使 13:5-12 不治の病の癒やし 2) 使 16:16-18 悪霊につかれた病の癒やし 3) 使 19:8-20 医術でできない不治の病を癒やし 3. 子どもたちの庭 1) 使 17:1 会堂でキリストの当為性を証し 2) 使 18:4 礼拝と祈りを教え 3) 使 19:8 (答え) 神の国について大胆に説明。御座の力が臨在。 □結論 何を回復すべきか 1. 私の中に (Ⅱコリ 10:4-5) 臨むべき 1) 私の中にサタンの要塞→ 7・7・7 が作られる 2) 私の中に三つの庭が作られる 2. 宣教に出て行く前に、教会の中に三つの庭が先にあるべき 3. このようになれば、産業の中に三つの庭が立つ △5 千種族をサッカーで掌握することができる。227 か国にサッカーが入っているため。そのレムナントにメッセージを伝達すること	7 やぐら、7 旅程、7 道しるべをゆっくり呼吸に合わせて祈れば、御座の力をもって、すべてを新しく変える (All-change) 再創造の力を持つ征服者として行くようになる。 MISSION が成り立つようになって、時空超越の答えが来る。 1. 神様の力がやぐらになった見張り人 (7 やぐら) 2. 神様の超越する力を持って 7 旅程に行く巡礼者 3. 神様が与えられる答えである 7 道しるべを持って行く征服者。 4. 生涯をかけてもかまわない価値の発見と決断 (使 1:11-15 オリーブ山からマルコの屋上の部屋に到着する瞬間) 5. 歴史的体験 (使 2:1-47) 6. 産業人重職者を立てて現場を変えた (使 6-10 章) 7. 道しるべ (使 11:19) - ステパノのことから起こった迫害のゆえに集まった者が時代を変えた □序論 開かれる目 1. 強大国に送られた理由 (237 があるため) 2. 奴隷、捕虜、属国の理由 (5000 種族がいるため) 3. 流浪の民の中にいる福音を持っているレムナント (世界福音化の次世代運動) □本論 空前絶後 祈れるくらい、静けさと平安が味わえるほど、深い部分が感じられるほど、ゆっくりと呼吸しなさい。ある日、空前絶後と時空超越が見える。皆さん 1 人がみな変える。 1. 次世代を生かす体験が出てくる。 1) 使 2:17-18 祈りの中から出てくる次世代を生かす答え 2) 使 13、16、19 癒やしと聖霊に導かれる未来の答え 3) 使 19:21、23:11、27:24 ローマ、カエサル 2. 次世代に伝達する内容 1) 使 17:1 キリストの当為性 2) 使 18:4 礼拝と祈り 3) 使 19:8 神の国 3. 次世代に残すシステムが作られる。 1) 私の中にプラットフォームになる 7・7・7、人を生かして光を放つ巡礼者の見張り台、絶対道しるべの答えを味わうアンテナ 2) 世界を生かす金土日時代 (集中) システム 3) 残りの者、巡礼者、征服者として立てられる次世代 □結論 時代を生かす人材を見つけ出して福音を植えること	1. 癒やし経済 1) 生命工学側がほとんど大勢を占めて 2) 病院、産業体、学校がつながること 3) 私たちは霊的工学側に入り込むこと 2. 非対面経済 1) ほとんど On line で、 2) AI で、 3) Universal (エペ 2:2) 式で出て来るようになる。暗闇、空中の権威をサタンが支配しているので、こういう働きが起こる 3. ネフィリム経済が続いて起こる。私たちは福音経済を準備すべき 1) 音楽 (ミュージカル、クラシック、大衆音楽、オペラ) と 2) スポーツ 3) ハロウィンのように特別な文化を作って入って行く レムナントが金土日時代にどんな文化を作るか祈り。世界福音化する人を把握して本部中心にコントロールして、幼いエリートを把握して福音を植えて、正しく育てることが重要。 △散らされた弟子たち 世界福音化の準備された者たち (使徒 13:1-4) 散らされた弟子たちの世界福音化のための準備 1. 人に頼らずに、難しくさせずに祝福しなさい。 2. 現場と現実に従って行かずに巡礼者の力で行きなさい。 3. 世の中の方法について行かずに世の中をリードしなさい。キリストが与えてくださったやぐらと旅程、道しるべを握って祈れば時空超越することと空前絶後の答えが来る。

△区域メッセージ (第 52 週) 会見の天幕の礼拝と 25 の答え (エゼ 47:1-23)	△聖日 1 部礼拝 人、現場、働きを超越する者 24 世界福音化 (I テモ 5:21-25)	△聖日 2 部礼拝/教育局卒業礼拝 世に従うことなく、世をリードしなさい (I テモ 6:1-21)
幕屋、天幕と同じことであるが、なぜ別に会見の天幕と言ったのか。ここで集まって礼拝をささげるためだ。ここで 25 の答えを受ける必要がある。 □序論_礼拝(祈り) 礼拝は神様に礼拝をささげることだ。 1. <u>やぐら(7)、旅程(7)、道しるべ(7) (刻印)</u> 礼拝は神様が世の中に勝つことができるやぐらを私たちに与えてくださったのだ。24 するやぐら 7 つ、神様が与えてくださる旅程、道しるべが各 7 つずつある。これを刻印させることが礼拝だ。 1) 礼拝をするとき、私が 24 する課題を見つけるのだ。 2) 時間が過ぎれば、25 という御座の祝福が起こる。 3) 時間が経てば、ますます永遠という祝福が私に体質化となる。 2. 個人 一人で祈りが成り立ち始める。 3. 職業 学業、職業、産業に臨むようになると証人になるしかない。 <u>ダビデ - 1 千やぐら、神殿準備</u> <u>ロックフェラー</u> <u>リンカーン</u> △ダビデは一生を神様のやぐらが私の中に入ってくるように、続けて祈ったが、一人で 1 千やぐらと三つの庭を成し遂げる神殿準備を完ぺきにした。ロックフェラーは、経済で世界福音化して、教会に仕えるという 24 を発見したが、アメリカに教会 2 千個、大学だけ 24 個を作った。リンカーンは、ガラ 3:28 を幼い時から祈ったが、これがやぐらになって 24 になったのだ。イスラエルは、神殿中心、礼拝中心に世界を掌握 □本論 1. 講壇のみことば 神様ののみことばは生きていて力がある。使 2:42 に使徒の教えを受けて、使 6 章に重職者が、使徒、指導者がみことばと祈りにだけ専念したと言われている。みことばを握ったとき、創 18:17 その信仰を義と認められ、エゼ 47 章では、講壇から流れ出るみことばが海まですべて生かすようになった。 <u>マタ 16:16 → 7.7.7 みことばの流れがこのようにつながっている。</u> <u>マルコの屋上の部屋で始まり→三つの庭</u> <u>トンサム第一教会から始まり→全世界の RT に入った。</u> 2. 講壇中心 1) 力を受けて、 2) ミッション発見-絶対主権、絶対計画、絶対契約、絶対旅程、絶対目標。 3) 時刻表を見つけるのだ。 3. 答え 1) ただ 2) 唯一性 3) 再創造が出て来るのだ。 □結論_237 これが 237 まで行って、私たちの学業と産業が世界化となる。 1. 見ること 他の人が見られないことを見るようになる。そうしてこそ 237 になる。 2. すること 他の人ができないことをするようになる。 △答えを受けようとせずに礼拝に成功すれば良い。	□序論_人、現場、働きを超越することが 24 になれば世界福音化する 1. 人、現場、働きを超越する奥義-「完了した」(ヨハ 19:30) 1) あなたの呪い、地獄、わざわいを終わらせた。信じて従って来ない。十字架で完了した。 2) 私の良くない状態、できなくなっていること、それが始まり 2. 今日、運命を変えてしまわなければならない。 1) サタンの 12 の落とし穴、枠、罠から抜け出すべき 2) 契約だけ握れば良い。契約を握る瞬間、働きが起こり始める ※難しいことが道だ。難しいその現場の中に 24 という最も大きな祝福。見つけ出しなさい。 3) 契約を握ったレムナント 7 人とサタンの 12 に閉じ込められていた周辺の人 3. むだな常識的なことに引っかかって世界福音化できなくなっている多くのクリスチャン 1) 人、現場、働きを超越すれば、世界福音化の門が開く。 2) 神様の力で人と現場を生かす者、このことを通して世界福音化する者として私を呼ばれた。世界福音化を準備 3) 暗やみに閉じ込められている必要がない。障害物とふさがった道は踏み石 □本論_三つの契約回復 1. パウロに与えられた神様の恵み、回復して行くべき 1) 最高に学んだ人なのにキリストを体験した人 2) 世界福音化の契約を確かに握った人(使 9:15) 3) パウロの告白-最高の奥義キリスト、キリストの手にあること、上から召された賞、天国の国籍 2. テモテが受けたこと、回復して行くべき 1) 「わが子よ」-祈りの人々、伝道者の 24 祈りの中にいる者 2) 伝道しに行ったパウロが石に打たれて死んで生き返ったリステラから出た弟子テモテ 3) パウロがテモテに送った手紙の内容 3. エペソであった恵み、回復して行くべき 1) I テモテ-エペソ教会のテモテに送った手紙 2) パウロが聖霊に満たされて訪ねて行って奇跡を起こしたティラノ講堂がある所 3) パウロがローマも見なければならぬと話した所 □結論 1. キリストが教えられたことしなさい。 1) 祈り、伝道、みな変えなさい 2) みことばの前に出てきた取税人と食事して誤りを悟る者を許されたキリスト 3) オリーブ山のメッセージ(神の国のこと)-世の中を生かすことができるやぐら、旅程、道しるべ 2. マタ 16:16 → 7・7・7、マルコの屋上の部屋→三つの庭 はじめに「あなたは生ける神の子キリストです」それが 7 やぐら、旅程、道しるべまで来た。マルコの屋上の部屋に起こったタラッパン運動が今三つの庭まで来た。 3. 暗闇のやぐらを崩して、神様のやぐらを建てなさい。	卒、Commencement 卒業は終わりであり、始まりだ。 勉強する理由は、世の中を生かすための。世の中をリードしなさい。(I テモ 6:20)その力は何か。 祈り(礼拝) = JX の御名で三位一体の神様の臨在と救われること 三位一体の神様で刻印、根、体質になれば神様のやぐらが建てられる。最高の方法である 24 の祈りの課題が作られるように礼拝のときに集中して祈り始めれば世界福音化する。このとき、25 が来て、御座化となる(使 1:3)。永遠は皆さんのことが作品化になるということ 世の中のこと(常識)と神様のこと(御座のやぐら、答えを受ける旅程、世界征服する道しるべ)を分別 1 千やぐら、三つの庭を作るほど、職業に答えが来て、一つの国を責任をもって祈るようになる働きが起こる。宣教前に職業に三つの庭が作られるべき。多民族を分析して近づきなさい。弟子一人が出てくれば、その人が一つの国となる。その人を呼んで訓練させれば世界福音化する。 □序論_信仰の善い戦いをするため(13-16 節) 1. 名前(保証) -イエス・キリスト名前で命じる(13 節) 2. 約束-約束した日になれば、唯一の主権者、万王の王、主の主、復活の主、誉れと栄光の主が働かれる 3. 証人になる。世の中をリードして行きなさい。 □本論_II テモテですべての答えが出て来る。 1. 涙 (II テモ 1:4-5) <u>成熟した RT</u> -涙を分かれば天の祝福が臨む。 1) 奴隷 2) 戦争 3) 捕虜 4) 属国 5) 流浪の民になることに對する涙がある者 2. 御座の <u>力を持っている RT</u> (II テモ 2:1-7) 1) 霊的兵士-司令官は神様だから心配せずに従って行きなさい 2) 競技する者 3) 農夫 △特徴- 24、25、限らない更新が必要な永遠 3. <u>わざわいを止める RT</u> -終わりの時には苦しみの時が来る。 1) 確実な証拠説明 2) 滅亡理由(1-13 節) -間違った愛(神様愛 x) 3) 学んで確信したことにとどまっていなさい。十分に整えられた者にするみことば 4. <u>世界を生かす RT</u> 1) 関心-人々は自分の耳に合う言葉だけ聞く。 2) 伝道者になりなさい。 3) 時が良くても、悪くてもみことばを伝える △これを(序論)いつも味わえば、他の人が見られないことを見るようになる。 □結論_7 つの答え(タラント) 1. みことばの力の流れ 2. RT の流れを見る。 3. 世界福音化の流れ(三つの祭り-救い、聖霊の力、御座の背景)を見る。 4. 礼拝と祈りの奥義 5. タラント(ただ) 6. 専門性(唯一性) 7. 現場性(再創造) 行くべき現場が見える